



このレポートは、私・和仁が毎月のコンサルティング活動や日常生活を通して気づき、学ばせて頂いたことを書き留めたものです。
お気軽にご笑読頂ければ幸いです。

【今月の気づき】

『なぜ約束が守れないのか！？』



レポートBECCA

上司がかかえるストレスの1つに、「部下からの報告があがってこない」ことがあります。早めに報告があればサポートのしようがあるのですが、納期直前になって「間に合いません」と言われると、そのリカバーのために大幅に予定を狂わされてしまいます。ましてや納期が過ぎてても報告がなく、それに気づいた上司のほうから「あの案件は、どうなったの？」と聞いてはじめて「あ、すみません。忘れていました・・・」などと言おうものなら、上司としては怒り爆発！それが重要な仕事であればあるほど信用喪失につながります。

先日、ある経営者が私にこうつぶやいていました。

「個別に依頼したことだけでなく、会議中に依頼をしたことですら放置され、忘れ去られていくんだ。どういうことだろう？」

話を聞いていて、私は想像してみました。「どんな原因が考えられるだろうか？」

指示されたときにメモをしない。あるいは、メモをしても正確に書いていない。(会議の話しを折らないため、不明な点があっても確認しないまま過ぎていく。そして不正確なメモを頼りに行動する 気の弱い人にありがち)

メモをする場所が一定ではなく、行き当たりばったりなので、メモとして機能しない。
メモをした後、納期をスケジュール帳(の当日のページ)に反映させていない。
納期はスケジュール帳に書いたとしても、その作業を実行する予定は書いていない。
(その作業予定を書けない理由は、実質的な作業時間の「時間見積」を算出していないから)

すでに仕事過剰でオーバーフローになっていて、依頼内容のメモをスケジュール帳に反映させる余裕すらない。

そもそも初めから約束を守る気がない。

ほかにもいろいろあると思いますが、大きく2つの理由に分けられます。要は「約束を守る仕組みを持っていないから」と「約束を守る気がないから」です。後者であったら話しになりませんが、前者なら、指導の余地があります。あなたの部下はどちらですか？

【今月の一冊から】

『商品が最大の効果を発揮するためのアイデアも商品になる！』

> エジソンは、他の人が発明したものを研究して、さらに使いやすいものや便利なものに改
> 良するという点でも、素晴らしい才能を発揮しました。例えば・・・。「電話」を発明したの
> は、グラハム・ベルです。しかし、ベルが発明した電話機は、相手の声が大変聞きとりに
> くいものでした。これをよく聞こえる電話機に改良したのは、エジソンです。(中略)ま
> た、発明品が実用できるところまでちゃんと面倒を見たという点でも、エジソンはすごい
> 人でした。例えば、電球を発明しても、それだけでは終わりません。各家庭でも使えるよ
> うに、電気を届けるシステムまで作りしました。それまでランプやガス灯しかなかったとこ
> ろに電気を送るシステムを作るのですから、大変なことです。

(『天才たちの共通項』 小林正観 中村多恵子 著 宝来社 P.10 より引用)

モノづくりをする人の中には、それを発明することだけに情熱を燃やし、「それをどう売るか」「どう日常で活用するか」には関心を示さない人もいます。一方で、エジソンのように電球を発明したあとにそれを各家庭にまで届けるシステムまで作り出すような人がいます。このように「全工程が見えている」人の仕事は、尽きることがありません。

私は常々、「全工程が見えているか？」を意識したいと思い、次の質問をときどき自分に投げかけています。

「自社の商品が最大の効果を発揮するために何ができるだろうか？」

たとえば、先日出版した拙著『夢現力』を題材にして私の例をご紹介します。私はその価値を伝えるために、いかにしてこの本を創り上げたかをまとめた「メイキングオブ夢現力レポート」を執筆し、出版記念キャンペーンに協力していただいた方にプレゼントしました。そのレポートは無料でしたが、「値段をつければ絶対売れますよ」と高い評価を得ました。またあるとき、読者から受け取ったメールに、次のように書いてありました。「仲間との勉強会で『夢現力』を教材として利用させてもらっています」と。本の内容を題材としてディスカッションすることで、自社のビジネスのアイデアを生み出すことができたそうです。このような使い方を他の読者にもお知らせすることで、手元にある本の価値を何倍にもできそうです。さらにもう1つの例ですが、「本に書かれた内容を顧問先の社長達にお伝えしたい」という税理士の先生がいて、セミナーを行ったこともありました

このように、1冊の本の中に書かれたことの価値を十分に伝えるために、その周辺にはいろいろなアイデアのチャンスがあることが分かります。それは世の中をよくすることにつながると同時に、結果的には自分にも返って来ます。あなたは、全工程が見えていますか？